

曹青通信

いわて

第一回 教養セミナー

令和元年六月十七・十八日、令和最初の教養セミナーは、滴禅会様の講演会に参加させていただく形で行了しました。

一昨年に、愛知県花井寺住職井上義臣老師をお招きしたセミナーが好評であり、今一度ご教授いただきました。再度お迎えする事ができました。滴禅会の諸老師様方にもお越し



頂き、六十数名によるセミナーとなりました。

二日間に渡

る日程で、一日目は花巻市圓通寺様にて、報恩調経・開講調経を厳修致しました。講義に先立ち、滴禅会会員であり岩曹青副会長の鈴木道将師による大般若理趣分儀軌を実演して頂きました。この講義に臨み百日間の加行をされた所作はとても素晴らしい、理趣分結印作法を自らのもの

発行者 岩手県曹洞宗青年会 伊藤寛英
発行所 岩曹青事務局 岩手県花巻市東和町安儀5区90（凌雲寺内）
TEL 0198-42-3055
FAX 0198-42-2928
題字／宗務所長 佐々木端瑛
編集／事業部



とされている様でした。引き続き、岩曹青会員を両班に、大般若会の導師も御勤めされました。その後、愛知県東昌寺住職芳賀成明老師による大般若理趣分儀軌の解説となり、一つ一つの作法に対して細やかに丁寧に意味合いを教えていただきましたが、時間が足りなく二日目へと持ち越しとなりました。

講義の後は、花巻温泉千秋閣様へ移動し親睦を深めました。

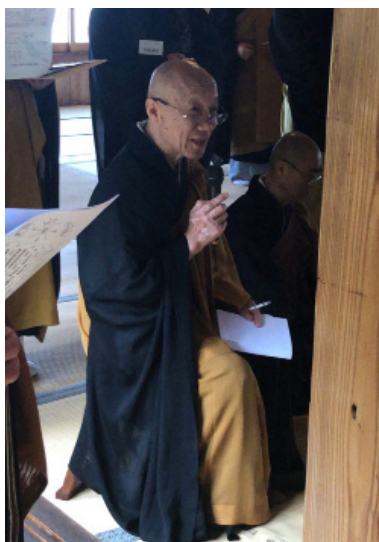
二日目は、八時より芳賀成明老師に再度解説いただき、西有穆山猊下・岸沢惟安老師・杉本俊龍老師・井上義臣老師へと相伝されてきた教えを学ぶ事ができました。

そして、井上義臣老師には修證



義の講義をしていただきました。「修證義は宗乗の書・観無常であり全て自分事としてとらえなければならない」「私達は願ってこの世に生まれ、仏の教えを得る事ができた」「実践実行する日々を大事に生きなければならぬ」と御教えいただきました。

滴禅会様の講義に参加し親睦を深められたのは、私共青年僧侶にとつては知識を得るのはもちろん、仏道精進の気持ちを今一度、見つめなおす良い機会となりました。



地協副会長就任報告

令和元年五月九日、東北地区曹洞宗青年会連絡協議会の定例幹事会において、当会会長の伊藤寛英師が第二十二期副会長として選出され就任いたしました。菅原芳徳会長（秋田県青年会）を支え「東北はひとつ」のスローガンのもと活動していくことを誓願されました。

平成30年度岩手県曹洞宗青年会事業報告

期日	内容	場所
平成30年 4月9日	平成30年度岩手県曹洞宗青年会 理事代議員会 通常総会	於 盛岡グランドホテルアネックス
平成30年 4月24日	第1回理事・代議員会 執行部引継ぎ会	於 盛岡グランドホテルアネックス
平成30年 4月26日	30周年仏法興隆花まつり 千僧法要	於 奈良県東大寺
平成30年 5月7日	東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 定例幹事会	於 山形国際ホテル
平成30年 5月17～18日	全国曹洞宗青年会評議委員会 定例総会	於 東京 宗務庁 檀信徒会館
平成30年 6月12日	理事・代議委員会 「みちのく緑陰禅のつどい」について	現職研修終了後 ホテルシティープラザ北上
平成25年 7月7日～8日	第53回みちのく緑陰禅のつどい 参加者 一般 16名、僧侶 39名	於 盛岡 報恩寺様
平成30年 9月27日	第1回教養セミナー 講師岩手県予防医学協会 武内健一氏 「みちのく緑陰禅のつどい」反省会 参加者21名	於 盛岡グランドホテルアネックス
平成30年 10月	曹青通信『いわて』105号発行	
平成30年 10月1日	東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 常任幹事会 参加者 会長	於 山形県新庄市 英照院
平成30年 10月10日	秋田県曹洞宗青年会40周年記念大会 参加者 会長	於 秋田キャッスルホテル
平成30年 10月31日	教区懇親会「フットサル」	担当教区12教区 於 フットサルアリーナ八戸
平成30年 11月2日	三遊亭楽麻呂師匠 寄席 並びに傾聴ボランティア活動 (第4教区青年会 活動支援)	於 釜石PIT
平成30年 11月10日	世界仏教徒青年会議世界大会 参加者 会長 副会長2名	於 大本山總持寺
平成30年 11月12日	第43回曹洞宗青年会東北地方集会 『山形大会』 参加者13名	於 山形テルサ テルサホール
平成25年 11月29日	全国曹洞宗青年会 臨時評議委員会 参加者 会長	於 東京 宗務庁 檀信徒会館
平成25年 11月30日	宮城県曹洞宗青年会50周年記念大会 参加者 会長	於 仙台プラザホテル
平成30年 12月10日	歳末助け合い寒風托鉢並びに忘年会 社会福祉協議会様へ寄附 参加者27名	第8教区担当 於 一関市 安養寺様
平成31年 2月11日	東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 常任幹事会 参加者 会長	於 仙台市 亜門
平成31年 2月20日	第2回教養セミナー 講師 山梨県慈照寺住職 大森一樹老師 並びに新年会 参加者21名	於 盛岡グランドホテルアネックス
平成31年 3月	曹青通信『いわて』106号発行	
平成31年 3月29日	会計監査	於 報恩寺

平成30年度岩手県曹洞宗青年会決算報告書

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

収入の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減▲	摘 要
前年度繰越金	616,173	616,173	0	
会 費	1,784,000	1,770,000	▲14,000	正会員 賛助会員230名(各7,000) 顧問16名(各10,000)
助 成 金	100,000	100,000	0	曹洞宗岩手県宗務所様より
雑 収 入	9,827	56	▲9,771	受取利子6 会員振込手数料残金50
合 計	2,510,000	2,486,229	▲23,771	

支出の部

項 目	課 目	予 算 額	決 算 額	増 減▲	摘 要
事業費	事 業 費	800,000	784,784	▲15,216	緑蔭禅補助250,000 寒風托鉢補助50,000 教養セミナー300,000 教区懇親会補助50,000 会員名簿作成134,784
	広 報 費	350,000	168,001	▲181,999	曹青通信印刷送料123,937 緑蔭禅ポスター29,484 インターネット年間契約料14,580
	助 成 金	100,000	100,000	0	イーハトーブ幼稚園助成
	小 計	1,250,000	1,052,785	▲197,215	
事務費	通 信 費	150,000	119,295	▲30,705	郵券・メール便等
	消耗品費	100,000	50,482	▲49,518	コピー用紙 封筒代
	事務局費	130,000	130,000	0	事務局手当80,000 インターネット手当50,000
	小 計	380,000	299,777	▲80,223	
会議費	会 議 費	200,000	128,870	▲71,130	役員会、理事・代議員会、監査、総会
	旅 費	150,000	150,000	0	会議交通費補助100,000 全曹青出向手当 50,000
	負 担 金	150,000	191,000	41,000	東北地協会費50,000 全曹青会費101,000(101名×1,000円) 東北地協ストックヤード維持費10,000 全曹青ボランティア基金30,000
	公 用 費	150,000	100,000	▲50,000	全曹青、東北地協、東北大会、宮曹青、秋田曹青・祝賀 岩手県宗務所、正法寺・問候
	小 計	650,000	569,870	▲80,130	
雑 費		100,000	41,855	▲58,145	慶弔電報 会費振込手数料等
予 備 費		130,000	0	▲130,000	
合 計		2,510,000	1,964,287	▲545,713	

総収入2,486,229円－総支出1,964,287円＝521,942円

次年度繰越金 521,942円

岩手県曹洞宗青年会
会 計 岩見 具行

平成30年度 頒布係収支決算報告

頒布内容

単位:円

項 目	金 額	摘 要
回 向 本	200,500	1,500円×73冊 1,300円×70冊
ビ デ オ	3,000	「見てわかる座禅」 ※現在販売停止中
カセットテープ	0	※現在販売停止中
合 計	203,500	

収入の部

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,331,013	
頒 布 金	203,500	
送 料	11,350	20冊以上注文の場合、送料無料
雑 収 入	1,500	受取利子10円 志納金1,490円
合 計	1,547,363	

支出の部

項 目	金 額	摘 要
通 信 費	16,280	送料実費
改訂版印刷代	1,059,264	1000冊増刷、振込手数料
雑 費	0	
備 品 費	0	印鑑代、梱包代
合 計	1,075,544	

平成30年度 岩手県曹洞宗青年会 特別会計

収入の部

項 目	決算額	適 要
繰越金	356,315	前年度より
雑収入	1	受取利子 1円
合 計	356,316	

支出の部

項 目	決算額	適 要
活動費	60,000	11月2日 第4教区青年会主催 釜石市 傾聴ボランティア活動 ①活動補助金 50,000円 ②交通費(2,000円×5名) 10,000円 (4教区以外の岩曹青会員分)
合 計	60,000	

収入356,316円－支出60,000円＝**296,316円**は次年度へ繰越

平成30年度岩手県曹洞宗青年会会計一覧

平成31年3月31日現在 単位:円

	金 額	
ゆうちょ銀行総合通帳	993,761	一 般 会 計 521,942 円 平 成 31 年 3 月 31 日 現 在
		頒 布 係 471,819 円 平 成 31 年 3 月 31 日 現 在
特 別 会 計	2,500,354	預 け 日 平 成 28 年 6 月 6 日
担保定額郵便貯金	1,460,017	預 け 日 平 成 24 年 3 月 23 日
担保定額郵便貯金	289,465	定 額 証 書 預 け 日 平 成 26 年 6 月 20 日
	625,847	預 け 日 平 成 27 年 3 月 24 日
緊急災害援助金	100,099	預 け 日 平 成 25 年 3 月 11 日
合計	5,969,543	

監 査 報 告

平成30年度岩手県曹洞宗青年会の会計監査を実施した結果、適正に処理されておりましたことを報告いたします。

平成31年3月29日

監 事 菊池 裕紀

監 事 日向 真学

平成31年・令和元年度 岩手県曹洞宗青年会事業計画

期日	内容	場所
平成31年4月9日	平成31年度岩手県曹洞宗青年会 理事代議員会 通常総会	於 アイーナいわて県民情報交流センター
令和元年 5月9日	東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 定例幹事会	於 秋田県
令和元年 5月14日～15日	全国曹洞宗青年会評議委員会 定例総会	於 東京都 宗務庁檀信徒会館
令和元年 5月頃	理事・代議員会	
令和元年 6月17日 ～18日	第1回 教養セミナー	花巻市 円通寺 様
令和元年 6月頃	理事代議委員会(「緑蔭禅の集い」につい て)	
令和元年 6月頃	曹青通信『いわて』107号発行	
令和元年 7月6日～7日	第54回みちのく緑蔭禅のつどい	正法寺
令和元年 8月頃	緑蔭禅反省会	
令和元年 10月頃	教区懇親会	第1教区担当
令和元年10月22日	第44回曹洞宗青年会東北地方集会 『福島大会』	於 福島
令和元年 11月頃	全国曹洞宗青年会臨時評議委員会	於 東京都 宗務庁檀信徒会館
令和元年 12月頃	歳末助け合い寒風托鉢並びに忘年会	第9教区担当
令和2年 2月頃	第2回 教養セミナー、新年会	
令和2年 3月頃	曹青通信『いわて』108号発行	
令和2年 3月下旬	会計監査	

平成31年・令和元年度 岩手県曹洞宗青年会予算

収入の部

単位:円

項 目	前 年 度	本 年 度	増 減▲	摘 要
前年度繰越金	616,173	521,942	▲94,231	
会 費	1,784,000	1,812,000	28,000	正会員 賛助会員 顧問
助 成 金	100,000	100,000	0	曹洞宗岩手県宗務所様より
雑 収 入	9,827	8,058	▲1,769	受取利子
合 計	2,510,000	2,442,000	▲68,000	

支出の部

項 目	課 目	前 年 度	本 年 度	増 減▲	摘 要
事業費	事 業 費	800,000	650,000	▲150,000	緑蔭禅補助250,000 寒風托鉢補助50,000 教養セミナー300,000 教区懇親会補助50,000
	広 報 費	350,000	350,000	0	曹青通信印刷送料 緑蔭禅ポスター インターネット年間契約
	助 成 金	100,000	100,000	0	イーハトーブ幼稚園助成
	小 計	1,250,000	1,100,000	▲150,000	
事務費	通 信 費	150,000	180,000	30,000	郵券・メール便等
	消耗品費	100,000	100,000	0	コピー用紙 封筒代
	事務局費	130,000	130,000	0	事務局手当80,000 インターネット手当50,000
	小 計	380,000	410,000	30,000	
会議費	会 議 費	200,000	200,000	0	役員会、理事・代議員会、監査、総会
	旅 費	150,000	150,000	0	会議交通費補助 全曹青出向手当 50,000
	負 担 金	150,000	200,000	50,000	東北地協会費50,000 全曹青会費110,000(1名・1,000円) 東北地協ストックヤード維持費10,000 全曹青ボランティア基金30,000
	公 用 費	150,000	150,000	0	会合出席補助
	小 計	650,000	700,000	50,000	
	雑 費	100,000	100,000	0	
	予 備 費	130,000	132,000	2,000	
合 計		2,510,000	2,442,000	▲68,000	

但し各項目間の流用を認める

岩手県曹洞宗青年会
会 計 岩見 具行

平成三十年度 第二回教養セミナー

二月に開催された平成三十年度第二回教養セミナーでは、山梨県有富山慈照寺住職であり駒澤大学仏教経済研究所研究員でもある大森一樹師をお招きし、四摂法と七仏通誠偈を例にした仏教用語についてお話しいただきました。

四摂法も七仏通誠偈も原始仏教以来広く伝えられる教えですが、それらを掘り下げ、教え自体の理解を深めるとともに、ひいては道元禅師がどのように解釈されていたのかを正法眼蔵からの引用を用いて解説していただきました。

修証義第四章発願利生における四摂法に関する部分は全て、正法眼蔵



からの引用によって構成されています。日常的に唱えているお経であっても、四摂法について完璧に理解しているかと問われるとなかなか首肯し難いものがあります。四摂法にしても七仏通誠偈にしても知っていると理解しているのは別物であると再認するものとなりました。正に脚下照顧でした。

今回の教養セミナーでは、日常的に触れる仏教用語を今一度考え、道元禅師の教えを振り返り学ぶ非常に良い機会となりました。



全曹青出向を終えて

日向真学

平成二十五年より三期六年間の全曹青への出向を、今春無事任期を終える事が出来ました。出向にあたり岩曹青会長様をはじめとした会員諸兄、教区や周囲の皆様には様々な面でご配慮、お力添えをいただきました事厚く御礼申し上げます。

全曹青では総合企画委員会の役をいただき、青年僧侶の布教教化の補助となる頒布物の制作や企画立案の補佐を行ってまいりました。また、東北からの出向者として東日本大震



災の支援事業にも多く携わらせていただきました。

期内には、東日本大震災七回忌法要やSDG（世界仏教青年連盟）世界大会等の大事業が多く、規模の大きさに不安を覚える事もありましたが、青年僧侶ならではの柔軟な発想と団結力で無事円成出来た事は、連絡協議体としてだけでなく青年僧侶の自由で活発な活動の場として全曹青の力と更なる発展の可能性を感じるものでした。

今後は全曹青での経験と出会いを岩曹青の発展へと繋げていけるよう精進してまいります。

